

# マス塾新報

島マス記念塾  
事務局担当者  
無責任編集  
Tel.937-3385  
MASU@OKICITY  
SHAKYO.COM



# 沖縄の実像を伝える発信力

## 松元剛先生講義～基地問題の深層～



▼県外メディアと県内メディアの見解の違いが、以前から気になっていました。今日の講義で納得しました。県民に寄り添い、日々、深く取材しているかどうかの違いだったんですね。そして、自分自身の基地問題への関心が低いことも、痛感させられました。(多恵美)

▼基地問題に関して、色々な考え方や情報が飛び交う中、改めて自分の意見や私の身の振り方を考えさせられました。ありがとうございました。(洋一)



▼松元さんの話を聞いて、こんな現状が許されるのかと、腹立たしい気持ちになりました。今の現状をもっと勉強して、しっかりしたい意見を持って、伝えていきたいと思っています。(祥子)

▼県外から沖縄への見方が「基地があるのは宿命」や「金に転ぶ」などと、差別や偏見の目で見ています。事実を知ることができ、県民の想いや意見とのギャップがこんなにもあるのか！と痛感し、今後も注意深くメディアを見ていきたいと思えます。(真弥)

▼基地をめぐる問題には、いつも怒りが込み上げて来ます。沖縄の人は、沖縄から基地がなくなることを目指して、あきらめずに考え続けなければいけないと思つた。(寛)

▼やっぱり重たいテーマでしたが、私たち県民としてきちんと向き合っていました。あと、バスガイドとして、正確なデータを話すことの大切さを再確認しました。ありがとうございました。(舞子)





は、撮影できないときもあ  
ることを知りました(丈也)  
▼米軍の基地問題について、  
もっと考える必要があるこ  
とを改めて実感しました。

(樹)

▼仲井真知事の表明「屈辱」を前に、改めて沖縄に押しこめられた問題を整理し聴講しました。「温度差」や「溝」「差別」に負けない沖縄の人の誇りや自信を醸成できるようがんばります。(亜季子)

▼松元さんの話を聞いて、沖縄県民はアメリカ政府、日本政府、特に、日本政府から蔑視されていると改めて痛感しました。本当にワジワジします。(恵祐)



▼私も本土出身者として、沖縄は基地がないとダメだと思っていました。今日、の講義を聴いて、やっぱり基地は沖縄にあつてはいいけないと思えました。もっと国や政府は現地にいる人達の話の聞いた方がよいと思

いました。(倫美)



▼本日は沖縄における基地の問題を新聞記者の松元さんから聞けて、大変勉強になりました。今日の資料を拜読して職場の方々に「飲み会」の席などで、情報を伝えていきたいです！(将裕)



▼米軍基地に限らず沖縄が抱える様々な問題に対し意識を持つ必要性を感じる講義でした。沖縄で暮らす社会人として、うちなぐんちゅ人でありたいです。(大祐)

(道憲)



2013年!島マス記念塾21期生THE忘年会!盛り上がりましたあバ(\*・ω・)ノ+。★イエイエ